

科目名		授業形態	担当教員名	
循環器学		講義	遠藤 宏和	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
循環器・呼吸器系の解剖学的構造と生理学的機能を相互に関連させ、循環器系疾患の症状・病態から検査法、PCI、薬物療法等の治療法や予後を理解するための基礎を概説する。				
授業の到達目標				
臨床工学技士業務として必要な循環器系の解剖・生理・症状・病態を理解し、その治療法へ繋がる知識を修得する。				
授業計画				
回	内容			
1	循環器系疾患 (疫学)			
2	心臓の解剖と心力学			
3	冠動脈の解剖と生理			
4	心筋細胞と活動電位・伝導速度調節			
5	心周期と心音			
6	心機能指標 (心拍出量規定因子)			
7	循環調節			
8	臓器循環 (脳・肝・脾・腎)			
9	症状 (胸痛・呼吸困難)			
10	症状 (ショック)			
11	循環障害			
12	循環器系での検査 (X線・エコー・経食道心エコー)			
13	薬物療法、輸液、輸血療法			
14	心臓カテーテル検査			
15	循環器系疾患			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
病気が見える vol. 2 循環器	医療情報科学研究所		メディックメディア	
臨床工学講座 臨床医学総論	篠原 一彦・小谷 透		医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				